

令和5年度 学校園評価の取組について

加古川市立別府町幼稚園

一年間、本園教育にご理解ご協力を賜りありがとうございました。毎月の「園だより(わかば)」で「保育のねらい(月の目標)」をお知らせしてきました。その教育目標を達成するために、教職員一丸となって教育活動を推進してまいりました。

その達成状況やその達成に向けた取り組みの適切さについて評価することにより、園として組織的・継続的に改善を図ることが、学校園評価の目的です。

学校園評価には、本園教職員による評価「学校園自己評価」と、学校運営協議会の方々に行っていただく「学校園関係者評価」があります。

本年度は、実践目標の中から重点事項2つに絞り、学校園関係者評価を行っていただきました。この結果を保護者の皆様に公表することで、園の状況に関して共通理解を図りながら、次年度の園運営の改善と教育水準の向上に努めたいと考えています。

令和5年度 3学期保護者アンケート集計結果

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

評価項目	A	B	C	D
1 園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されている。	20	9	0	0
2 園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導が行われている。	18	11	0	0
3 園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために、必要な環境が整えられている。	16	12	1	0
4 園内環境(保育室・遊具や教材教具など)の安全管理は、適切に維持されている。	16	13	0	0
5 園児への安全指導(怪我・食物アレルギー・熱中症の防止など)は、適切である。	20	9	0	0
6 園行事には、自然や季節、文化や伝統を考慮したものが取り入れられている。	27	2	0	0
7 教育活動の参観は、機会や持ち方も適切である。	18	10	1	0
8 教育活動を伝える情報①(園だより・かけはしノートや担任による口頭連絡など)は十分である。	19	9	1	0
9 教育活動を伝える写真入りの情報②「スクリーンなかよしべふっこ・園内フレーム入り掲示物」は十分である。	21	5	3	0
10 子育てに関する相談は行いやすく、情報提供も十分である。	15	11	2	1
11 教職員の対応は、適切で誠意をもった接し方である。	26	3	0	0
① あいさつや着替えなど基本的な生活習慣が身についていますか。	15	13	1	0
② 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付きながら、一緒に遊んだり活動したりする楽しさを味わっていますか。	12	15	2	0
③ して良いことやいけないことに気付き、きまりを守って遊ぼうとしていますか。	16	13	0	0
④ 身の周りの自然物に目を向け、興味をもって接していますか。	15	13	1	0
⑤ 自分の気持ちを自分なりに言葉で表現していますか。	14	13	2	0
⑥ 自分の気持ちを体の動きや絵・工作を通して自由に表現する楽しさを味わっていますか。	17	11	1	0

- 1 教育目標 仲間と共に生き生きと遊ぶ子の育成 ～思いやりの心を持ち、共に育ち合える仲間をめざして～
- 2 基本方針 園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。
◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行う。
◇園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。
◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮して活動を展開する。
- 3 指導目標 めざす幼児像として次の5つを設定し、日々の指導に当たる。
①健康で明るく生き生き遊ぶ子 ②自分の思いを素直に表現できる子
③自分で考え行動できる子 ④ねばり強くやりぬく子 ⑤思いやりのある子

創意ある教育課程の編成・実施	園児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮して、保育活動を展開することができたか。 ◇印：学校運営協議会委員
教職員評価 B+	節句などの伝統行事に親しむ保育活動に加えて、コロナウイルス感染症対策の5類移行を受けて園外保育など新たな保育活動にも取り組んできた。このような創意工夫した保育活動を進めてきたことが、保護者アンケート⑥で「とてもそう思う」の評価93%に繋がっていると考えられる。次年度は更に小学校や地域との連携のもとに保育活動を充実させていきたい。 ◇保護者アンケートからも季節ごとの行事や遊びが大変よくできている様子がうかがえる。 ◇園外保育では安全確保など心配なことも多いと思うので、ぜひ地域にも声を掛けてください。ボランティアとして手助けできる人材は多いと思います。
学校運営協議会委員評価 A	◇端午の節句や七夕などの伝統的行事や、カルタ・こま回し・羽根つきなどの正月の遊びに親しむことができる保育も大事にされているのは良いことだと思う。このような保育を通して、社会とのつながりの意識が養われることを今後も期待します。
家庭との連携の促進	園児の健やかな成長と幼稚園教育への理解を深めるために、情報を多角的に且つ積極的に発信して家庭との連携を深めることができたか。 ◇印：学校運営協議会委員
教職員評価 B	今年度は、紙媒体によるお知らせプリントとスマホアプリによるデジタル情報に加えて、園内の壁面掲示物による情報発信にも力を入れてきた。このような情報発信は、保護者アンケート⑧⑨から概ね好評であると取れるが、「あまりそう思わない」という意見もあるので、次年度は更なる工夫を模索したい。
学校運営協議会委員評価 A	◇現在のIT機器による情報発信と手書きのあたたかい感じの壁新聞と良いとこ取りをされていると思う。 ◇せっかく壁新聞に力を入れられたのだから、掲示の仕方にひと工夫された方が、保護者にも伝わりやすいでしょう。 ◇親は子育ての悩みを多く抱えているものですから、園からも積極的に声掛けをしていただきたい。

「学校園自己評価」と「学校園関係者評価」の2つの「学校園評価」で、成果と課題が明確になりました。また、学校運営協議会の方々からは、園運営についての提言もいただいております。
来る令和6年度は、本年度の成果と課題を踏まえながら、教育目標を達成するために日々の教育活動を更に充実させていきたいと考えています。